



〈雑録〉一部出庫ニ關シ改正商法第三八〇條ノニト同 第三八三條ノ三トヲ比較對照セントス

花岡, 敏夫

(Citation)

經濟學商業學國民經濟雜誌, 11(5):785-791

(Issue Date)

1911-11

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00051793>



雜 錄

一部出庫ニ關シ改正商法第三八〇條ノ二ト同第三八三條ノ二トヲ比較對照セントス

法學士 花岡敏夫

倉庫證券ニ關シテ現行商法ハ二枚證券ノ制度ヲ採用シタルガ、來ル十月一日ヨリ實施セラルベキ改正商法ハ更ラニ一枚證券ノ制度ヲ併用シタリ、而シテ多數ノ學者ハ二枚證券制度ヲ以テ理想ニ近キモノナリト説明スレドモ、其議論ハ一見巧妙ナルガ如クニシテ實ハ却テ拙劣ナルハ獨リ我國ノミナラズ各國何レノ商取引ノ實際ニ於テモ二枚證券制度ヲ殆ンド事實上ニ行ハレ居ラザルニ徴シテ明カナリト信ズレドモ、之ガ理論上ノ根據ニ付テハ稿ヲ更メテ論ズル處アラシ

ト欲ス。

余ハ此ニ改正商法實施ノ準備トシテ、倉庫營業上重要事項ノ一タル質權設定以後ニ於ケル一部出庫ニ關シ、改正商法第三八〇條ノ二（二枚證券ノ場合）ト同第三八三條ノ二（一枚證券ノ場合）トカ著シキ差異ヲ設ケアルコトヲ指摘シ、且其差異タルヤ立法者ノ杜撰ニ據レルコトヲ明確ニシ、併セテ之ガ結果ニ付キテ論及セント欲ス。

第一、法文ハ兩制度ニヨリテ著シキ差異ヲ設ケタリ

我商法ハ從來寄託物質入以後ニ於テハ一部出庫ヲ認メザリシガ、之ヲ以テ實際上ニ不便アリトシ又伊太利商法ニ於テモ之ヲ採用シアルヲ以テ、未ダ他ニ立法例無キモ當業者ノ要求ニ基ヅキ改正商法ニハ之ガ規定ヲ設ケタルモノナルガ其規定セル處ヲ見ルニ左ノ如シ。

第三八〇條ノ二、寄託物が同種類ニシテ同一品質ヲ有

シ且分割スルコトヲ得ベキ物ナルトキハ預證券ノ所持人ハ債權額ノ一部及其辨濟期迄ノ利息ヲ供託シ其割合ニ應ジテ寄託物ノ一部ノ返還ヲ請求スルコトヲ得、此場合ニ於テ倉庫營業者ハ供託ヲ受ケタル金額及返還シタル寄託物ノ數量ヲ預證券ニ記載シ且其旨ヲ帳簿ニ記載スルコトヲ要ス。

第三八三條ノ三、倉荷證券ヲ以テ質權ノ目的トシタル場合ニ於テ質權者ハ承諾アルトキハ寄託者ハ債權ノ辨濟期以前ト雖モ寄託物ノ一部ノ返還ヲ請求スルコトヲ得、此場合ニ於テ倉庫營業者ハ返還シタル寄託物ノ種類、品質及ビ數量ヲ倉荷證券ニ記載シ且其旨ヲ帳簿ニ記載スルコトヲ要ス。

即チ由是觀之、質權設定以後ニ一部出庫ヲ爲サントセバ兩制度ノ下ニ於テハ左ノ如キ特質アリトス。

(一)一枚證券發行ノ場合ニハ質權設定以後ニ於ケル一部出庫ハ質權者ノ承諾ヲ必要トシ從ツテ其一部辨濟ナル感念アラシム供託ナル感念ヲ認メズ、然ルニ二枚證券發行ノ場合ニ質權設定以後ニ一部出庫ヲ爲スニハ左

ノ條件ニ從ハザルベカラズ。

一、其寄託物ガ同種類ニシテ同一ノ品質ヲ有シ且分割スルコトヲ得ベキ物ナルトキ
二、其供託スベキ金額ハ其割合ニ應ジテ債權額ノ一部及其辨濟期マデノ利息ニテ足レリ。

(二)一枚證券發行ノ場合ニハ其辨濟アリタル金額(質權者ノ承諾ヲ要スルヲ以テ辨濟ト稱ス)ヲ記入スルヲ要セザルト同時ニ返還シタル寄託物ノ種類品質ヲ證券ニ記載スベキコトヲ必要事項トシタルガ二枚證券發行ノ場合ニハ質權設定以後ニ一部出庫ヲナサバ倉庫營業者ハ供託ヲ受ケタル金額及ビ返還シタル寄託物ノ數量ヲ預證券ニ記載スベキモノトセリ。

第二、二枚證券ニ關スル改正法ノ規定ハ尙ホ不充分ナリ。

(其)寄託物ガ同種類ニシテ同一品質ヲ有シ

且分割スルコトヲ得ベキ物タル場合ニノミ制限スルハ寄託者又ハ預證券所持人ノ爲メニ未ダ不使アリトス、

質權設定以後ニ於ケル一部出庫ニ關シ、質權者ノ承諾ヲ待タズ預證券所持人ノ權利トシテ一部出庫ヲ一般的ニ認メントシタル結果ハ、如此キ制限ヲ必要トシタルモノナレドモ、預證券所持人ノ地位ヨリ見テ其權利トシテ認メラレタルコトハ便宜ナレドモ、如此キ制限ヲ受クルハ往往不便ノ場合アリトス、是レ一箇ノ證券ヲ以テ種類若クハ品質ヲ異ニセル二箇以上ノ貨物ノ受託アリタル場合ニハ實際上毫モ差支ナキニモ係ラズ一部出庫ヲ爲シ得ザレバナリ、例ヘバ米穀ノ如キハ各產地ニヨリテ各多少ノ品質ヲ異ニシ數十種アレドモ、之ヲ取引所ニ於ケル賣買ノ格付ヨリセバ僅カニ數階級ニ分類セバ足レルモノニシテ、其同等ニ取扱ヒ得ルニモ拘ラズ尙ホ未ダ本條ノ制限ヲ受ケザルベカラザル不便アリト

ス。

(其二)且夫レ質權者ノ承諾ヲ要セズ單ニ種類及品質ガ同一ニシテ且分割シ得ベキ物ニ關シテ一部出庫ヲ一般的ニ預證券所持人ノ權利トシテ認ムルハ質權者ノ爲メニモ多少危險ナリトス。

改正商法ハ質入證券ノ流通轉轉ヲ前提トシ、現在ノ質權者ヲ知リ難キコトヲ假定シ、一般的ニ規定セントシタル結果、寄託物ノ種類品質ガ同一ニシテ且分割シ得ベキ場合ニ關シテノミ之ヲ認メタルガ、商品ノ如キハ假令種類、品質ヲ同ジクスルモ、季節ニヨリテ其價額ニ著シキ變動アルコトハ尙ホ夏帽子ノ冬季ニ於ケルガ如シ又其貯藏ノ數量ニ因リテ價額ニ變動ヲ生ズルコトアリ、假ヘバ多クノ場合ニハ品物拂底セバ其價額騰貴スレドモ又タ時トシテハ品物不足ノ爲メ反ツテ全然他品ヲ代用シ之ヲ需用セザル場合アリテ著シク下落スルモノナシトセズ、殆ンド商業界ニ於ケル價額ノ高低ハ單純ナル割合ヲ以

テ率スルヲ得ザルナリ。

論者或ハ改正規定ヲ辯解シテ、其割合ヲ以テ一部出庫ヲ許スハ、後日價額ノ下落シタル場合ニ於テモ一層ノ便宜ナラント曰ハンモ之レ固ヨリ然リ、然レドモ數量ノ減少ヨリ來ルベキ需要ノ減退ノ爲メニ生ズル價額ノ下落ガ更ラニ一層甚ダシキ場合ハ之ヲ如何ンセントスルカ。

以上ノ如クナルヲ以テ、余ハ改正條項ニ對シテ、先ヅ同一種類、同一品質及可分性ナル三要件ヲ列記的ニ制限セズシテ「種類、品質及性質ニ關シ分割スルコトヲ得ベキ物ナルトキ」ト修正シテ其範圍ヲ擴張スルト同時ニ、如此キ一部供託以前ニ、債權者ノ注意ヲ促サンカ爲メニ、最初ヨリ預證券所持人ノ絶對ノ權利トセズ「債權者ガ一部出庫ヲ禁止セザリシトキハ云々」トノ前提ヲ設クルヲ相當ト信ズ、

第三、二枚證券ニ關スル改正法ノ規定ハ實際ノ取引ニ該當セズ。

殊ニ改正商法第三八〇條ノ二ニヨレバ、預證券ノ所持人ハ單ニ債權額及ビ利息ノミヲ供託シテ當然ニ一部出庫シ得ルモノトセルガ、此場合ニ質權者及ビ倉庫營業者ハ其保管料及ビ立替金ノ負擔ヲ如何ニスベキヤノ疑問ヲ生ズベシ、即チ此一部出庫ノ場合ニ立替金及ビ保管料ハ動產保存ノ必要費トシテ其割合ニ應ジテ當然ノ先取特權アリトセバ、本條ハ頗ル不注意ナル條文ト云ハザルベカラズ、且夫レ本條ニ所謂「其辨濟期迄ノ利息」トハ、全債權ノ利息ナルカ若クハ返還セントスル債權ノ一部分ノミニ對スル利息ナリヤ曖昧ナルヲ免レズ、勿論立法者ノ眞意ハ之ヲ以テ民法ノ精神ヨリシテ債務者ノナス期限ノ利益ノ拋棄ナリトシテ、全債權ニ對スル辨濟期マデノ全利息ナリトスルニアルガ如キモ、若シ然リトセバ商人ハ如此キ無益ナル利息ヲ供託スルガ如キ愚者ニ非ズ、蓋シ商人ノ大多數ハ金利ノ差額ヲ以テ目的トスルモノナリト云フモ過言ニ

非ラズ、從ツテ金利ヲ無視セシメントスルガ如キ法律ハ之ヲ死法ト云フベキナリ、而シテ今日實際ニ於ケル取扱トシテハ、一部出庫ハ皆其供託期日マデノ利息ヲ供託セリ、而シテ供託アリシコトヲ倉庫營業者ハ直チニ質權者ニ通知シテ、質權者ヲシテ其供託セラレタル利息ヲ直チニ他ニ活用シ得セシムルナリ、之レ假令債權者トシテハ期限終了マデノ利息ヲ取立テ得ザルモ元利金ノ回收ヲ速カニシ且確實ナラシムルノ利益ト得意ニ對シテ便益ヲ計ル精神トニ出デタル慣習ナリトス。

之ヲ要スルニ、改正商法第三八〇條ノ二ニヨレバ質權設定以後ノ一部出庫ハ、一方ニ不完全ナルト同時ニ他方ニハ廣汎ニ失スルノ嫌ヒアリ殊ニ殆ンド實用ニ適セザルノ恐レアリトス、而シテ又一枚證券ト雖モ流通證券トシテ同様ニ其質權ノ移轉アリ得ルヲ以テ、所持人ノ不明ナル場合ヲ生ズルコトハ毫モ二枚證券ノ場合ニ比シ

テ差異ナキニモ拘ラズ、改正商法第三八三條ノ三ノ如ク「質權者ノ承認アルトキ」ニノミ之ヲ制限セバ、其質權ノ移轉ヲ豫想セザリシ不當アルモノト云フベシ、即チ結局余ハ改正商法第三八〇條ノ二ト同第三八三條ノ三トノ間ニ、不必要ナル差異ヲ徒ラニ設ケタルコトヲ非難シ、併セテ立法者ガ一枚證券制度ニ對シテハ、供託ヲ認ムルノ必要ナシトセルヲ缺點ナリト信ズ。

殊ニ質入證券ノ流通轉帳ハ實際ニハ左程必要ナキノミナラズ、假リニ之ガ流通轉帳アリトスルモ、其度々質權者ヲシテ之ヲ倉庫營業者ニ通知セシムルヲ必要トスルモ、左程質權者ニ對シテ大ナル負擔ヲ與ヘズシテ之ニヨリテ質權者ノ處在ヲ明ニスルヲ得ベキヲ以テ質權者ノ不明ヲ前提トスベキ必要毫モ存セザルナリ。

論者或ハ質權設定以後ニ於ケル一部出庫ノ供託手續ヲ認メタルハ、流通證券タル預證券ノ所持人ヲ保護スルガ爲メニ設ケタル規定ナルヲ以

テ、一枚證券ノ場合ニハ之レニヨリ質權設定以後ニ於テハ預證券ノ所持人ニ準ズベキ者ナキヲ以テ、特ニ之ヲ規定スルノ必要ナシト云ハンモ若シ夫レ、預證券所持人ヲ保護スベキモノトセバ之ト同様ノ境遇ニアル者(即チ貨物所有者)ヲ保護スベキ必要アルハ當然ナルベシ、從ツテ如此キ者ガ最早其證券ヲ呈示シ得ザルモ、其貨物ノ所有者タルコトガ倉庫業者ニ於テ明瞭ナル以上ハ、之ニ對シテモ一部出庫ノ供託ヲ認ムルヲ相當トス、而シテ今日一般ニ質權者ハ其設定ヲ倉庫ニ通知シ來ルヲ以テ、且ツ之ヲ通知シ質權回收ノ迅速ヲ計ルハ、質權者ノ爲メニ利益アルガ故ナルコトハ前キニ述べタルガ如シ、故ニ質權設定通知ト同時ニ單ニ貨物所有者ノ何人ナルカラ通知セシムレバ足レルナリ、而シテ既ニ一部出庫ノ供託ガ貨物ノ所有者ノ爲メニ便宜ナルノミナラズ、別段債權者ヲ害セザル場合ニハ之ヲ認ムベキモノトセバ、同一ノ理論ノ下ニ其貨

物ノ所有者ノ明瞭ナル場合(即チ預證券アル場合ノ所持人ニ該當ス)ニハ等シク之レヲ認メザルハ權衡ヲ得ザルコト云フヲ待タズト信ズ。

第四、特ニ一枚證券ノ場合ニ常ニ種類、品質ヲ記載セシムルハ無益徒勞ノ規定ナリ

二枚證券ノ發行アリシトキニ質權設定以後ニ於ケル一部出庫ヲ爲シタル場合ニ、其種類品質ヲ繰返ヘシテ記載セシメザルニモ拘ラズ、一枚證券ノ場合ニハ常ニ其出庫部分ニ對スル寄託物ノ種類、品質ヲ繰返シテ記載スベキモノトセルハ全ク無益且徒勞ナリ、故ニ此ノ如キ規定ハ一箇ノ證券ヲ以テ種類若クハ品質ヲ異ニセル貨物ヲ表示セシメタル場合ニノミ限リテ必要トセバ足レルナリ。

第五、結論

之ヲ要スルニ、改正商法ハ尙ホ未ダ種々不備不完全タルヲ免レザルガ、殊ニ倉庫營業ニ關スル規定ノ如キハ殆ンド法文トシテ前後ノ一致ヲ

缺ケルモノ少ナカラズ、然レドモ二枚證券ノ制
度ハ到底其實行ヲ近キ將來ニ於テハ見ルコトナ
カルベキヲ以テ、之ヲ非難スルハ單ニ空論ニ近
キモ、其一枚證券ノ下ニ於ケル一部供託ヲ全然
認メザリシノミナラズ、其一部辨濟ニ付テモ頗
ル不便アルハ之ヲ觀過シ難キ處ナリトス、但此
不完ナル規定ノ爲メニ、偶然ニモ改正商法第
三八〇條ノ二ト同第三八三條ノ三ト比較對照
ノ結果ハ、寄託物ノ種類、品質ガ相異ナレル場
合ニ於テモ一箇ノ證券ニヨリテ一部出庫ヲ爲シ
得ルコトノ注意ヲ惹起シタルガ如キハ、多少倉
荷證券ノ發行上便宜ヲ促シタル奇觀アルコトヲ
一言セント欲ス。